

先輩なう!

挑み、守るものたち。

(株)ネクスコ・メンテナンス新潟 技術管理部 技術企画課 関 由里絵さん

<関 由里絵>さん

長岡工業高等専門学校

環境都市専攻 平成24年度卒業

株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟

技術管理部 技術企画課

【勤務先での近況を教えてください】

ネクスコ・メンテナンス新潟では、『安心・安全・快適』を高速道路を利用するすべてのお客様に提供するために冬期の交通を確保する「雪氷対策」や快適な利用環境を創る「清掃・植栽作業」、良好な走行環境を維持するための「災害・事故復旧工事」「点検・補修・改良工事」等を行っています。私は昨年までは、現場の最前線に立ち高速道路の維持管理業務に携わってききましたが、今年度からは、技術管理部技術企画課に配属になり、人材育成や我が社の保有する技術の営業・展開を行う業務を担当として、作業の効率化や安全性のさらなる追求、一層の利便性・快適性向上を目指し日々の業務に取り組んでいます。

【この職業を選んだ理由は?】

我が社では、清掃・植栽・雪氷対策作業・災害、事故復旧工事、点検・補修・改良工事と幅広くやっております。社員一人ひとりが、他の人には負けない『技術力』を持ち、その集合体がネクスコ・メンテナンス新潟です。「この会社に入ること、自分が夢中になれる仕事が見つかって、そして他の人には負けない『技術力』を得ることができるのではないか」という思いから選びました。また、県外転勤がなく安定した将来設計が可能である株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟を選びました。

【この仕事の「やりがい」「楽しみ」は何ですか?】

現在の仕事のやりがいは、新入社員・先輩・上司等、年齢構成の様々な組織の中で、一つの研修を企画するといっても、どんなモノを求めているかを追求する必要があります。そのためにも、自分が仕事についてしっかり理解する必要があり、それが自分のためにもなります。研修等を受けた社員から「良い研修だった」と言ってもらえると「自分の考えたモノは間違っていない」と再認識でき、やりがいを感じます。

また、改善する点についても次回はより良いものを



計画したいという意欲が湧き、試行錯誤や好奇心を忘れずに業務に当たること、やりがいを持つことができ、自信にも繋がります。

【オフタイムはどう過ごしていますか?】

社会人になってからはヨガに興味を持ち、週に数回、ヨガ教室に通っています。最近『ホットヨガ』に興味を持ち、体を動かしながら精神的な安定とリラックス効果が得られる他、運動音痴な私でも体を無理なく鍛えられるのでやめる事なく続けられています。

【将来の目標や夢はなんですか?】

私は、入社して昨年までの3年間、現場の最前線に立ち高速道路の維持管理業務に携わり、そして、今年からは、人材育成・技術開発等の業務に携わってきました。

その中で生まれてきた目標は、高速道路を利用されるお客様、そして高速道路の維持管理に携わる技術者、両方からの要望に対して、幅広い視野に立ち、最善の対応をすることのできる土木技術者になりたいです。

そして、女性土木技術者の数も年々増えていたといっても少数であり、結婚・出産・子育てをしながら働くという前例がないのが現状です。そういった環境でも女性技術者が活躍し働き続けることが出来る職場環境を現実化することが夢です。

【後輩たちへ一言】

我が社は、新潟県内の高速道路の維持管理業務（清掃・植栽・雪氷対策作業・災害、事故復旧工事、点検・補修・改良工事）を幅広くやっているため、自分の考え方・行動次第では、多方面で活躍することが可能となり、他人には負えない自分だけの『技術力』を得ることが出来る会社です。そして、高速道路を守るという熱い使命感を持ち、私たちと共に働いてみませんか。



東日本高速道路株式会社
管理事業本部
SMH推進チーム

五十嵐 祐貴
Yuki Ikarashi
2011年入社

入社3年目でNEXCO東日本のビッグプロジェクトへ参加。

現在、私は親会社であるNEXCO東日本の本社に向向という形で勤務しています。本社があるのは東京の霞が関で、当初は静まり返ったオフィスの中で社員たちが黙々と仕事をしているイメージでしたが、実際は全く違いました。とても活気があり、誰もが気さく。経験の浅い私にも優しく接してくれて、非常に働きやすいです。私が取り組んでいるのが、SMH(スマートメンテナンスハイウェイ)推進に関する業務です。SMHとはNEXCO東

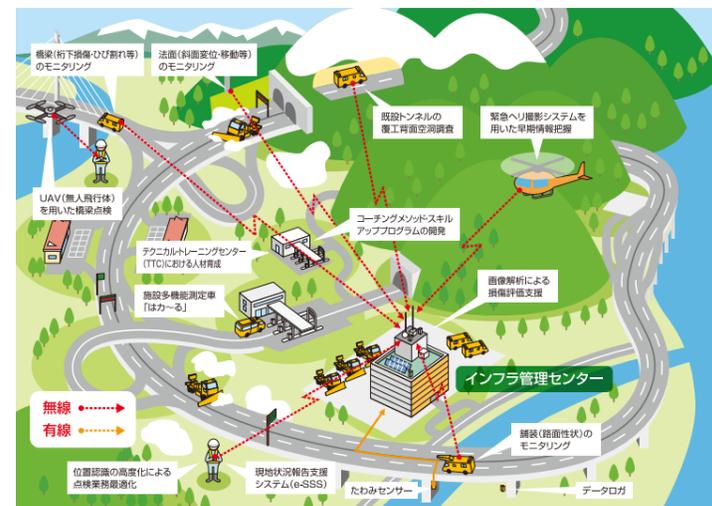
日本が2020年の実現を目指している、次世代の高速道路メンテナンス構想。ICT(情報通信技術)や点検・管理業務の



機械化を積極的に取り入れ、それら新技術と技術者のノウハウが融合した総合的なメンテナンス体制を作ること、維持管理業務の高度化・効率化を目指しています。私はその推進のために、全体計画や必要な導入技術の検討、現状の業務分析等を担当しています。親会社のもとでこうした大きなプロジェクトに携われるのは大きなやりがいですね。若手社員に対してこのようなチャンスを与えてくれた会社には、とても感謝しています。

高速道路メンテナンスの未来の姿「SMH構想」

高速道路メンテナンスは、次のステージへと動き出しています。最先端技術を駆使し、よりレベルの高い「安全・安心・快適」を追求する。それがSMH(スマートメンテナンスハイウェイ)構想です。



私たちが目指す 高速道路メンテナンスの 未来図とは

インフラのメンテナンスの重要性が高まる一方、少子高齢化による熟練技術者の不足と質の低下が懸念されています。近い将来、現在のよう人的対応が中心の維持管理体制は限界が生じてくるでしょう。こうした背景からICT(情報通信技術)の導入や機械化を積極的に進め、これらと技術者が融合した総合的なメンテナンス体制を構築し、維持管理業務の高度化を図るのがSMH(スマートメンテナンスハイウェイ)構想です。2020年の実現に向け、技術開発やマニュアル作成などが進められています。

目視・打音・触診といった従来の点検手法に加え、各種センサーやUAV(無人飛行体)を用いたモニタリングなどの手法を導入し、より科学的な領域から情報データを収集。これらの情報は「インフラ管理センター」に集約され、老朽化が見られる箇所の監視、補修工事などの迅速な対応、データ解析による劣化予測や維持管理計画の作成などに役立てられます。

社内・各種イベント フォトギャラリー

オンタイムはもちろん仕事に一所懸命ですが、オフタイムでも様々な社内イベントが年間を通じて開催されています。時には会社を離れ、社員有志が集いスポーツ大会や地域イベントに参加することも。これらの活動を通じて、社員の相互理解と親睦が深まることで社内の風通しが良くなり、業務の効率も上がります。そんな当社の社内や各種イベントの様子を写真でお伝えします。



▲NEXCOグループ会社対抗ソフトボールでの一コマ



▲若手社員による屋外バーベキュー大会の様子



◀新潟まつり 大民謡流しへも会社として参加しました



▲社員有志で参加したマラソン大会でのゴールシーン



NEXCO旗の前でやる気を見せる！
2014年4月に入社した新入社員2名です



▲マレーシアで開催された会議での発表を終え、ほっとひと息つくメンバー



▲「プロジェクト アイ」(ICT化促進特別プロジェクト)で社内表彰を受けるメンバー



▲会議中の本社技術管理部のメンバー。新たな技術はここから生まれる？



▲2013年4月に入社した女性新入社員。当社イメージキャラクター「トキッポ」とポーズ！



▲年頭挨拶で熱弁をふるう社長。新たな1年に向けて気持ちも引き締まります



▲防災フェアでTVカメラを前に当社製品「あられ検知器」の説明をする技術管理課長



▲「ハイウェイテクノフェア」に参加して意気揚々のスタッフたち

ともに高速道路の未来を創っていきましょう。

様々なことを吸収する素直さ、最後までやり抜く持久力、そして常に自分の「伸びしろ」を見つけ、成長していける人材が理想です。



執行役員 総務部長 加藤 千晶

ジョブローテーションにより 基本をしっかり学べます

ネクスコ・メンテナンス新潟ではジョブローテーション制度により、入社後、企画課・保全課・工務課の3課を1年ずつ経験していただきます。それを2周した後、7年目から希望や適性に合わせて専門の業務を掘り下げていきます。およそ3年ごとに転勤がありますが、場所は新潟県内のみ。もちろん家庭のことなど諸事情は考慮します。

新潟県の高速度道路は海、雪、山、里と様々な環境にあるので、一通り経験して欲しいと思います。3か所ほど回るとかなり経験値が上がり、仕事の幅も広がります。

「NEXCO東日本グループ=安定」ではなく、 思いきりチャレンジできる場

当社は「従業員満足なくして顧客満足なし」の考えのもと、転勤先の住居借り上げ、資格取得のための費用負担など、サポート体制を充実させています。ただし、こうした環境やNEXCO東日本のグループ会社であることに安住せず、「思いきり挑戦できる環境」と考えていただきたい。そして「新潟県の高速度道路は自分たちが守るんだ」という熱い使命感を持った方と、ぜひ一緒に働きたいですね。



あなたを社会人として着実に成長させます。

キャリアに応じてマネジメント力を磨く研修を定期的実施。あなたを必ず成長させます。

階層別研修

若手なら人の意見を素直に聞き入れる「従順性」、中堅なら自発的にものごとに取り組んだり自らの判断で行動したりできる「自主性」、管理者ともなれば対人場面で積極的に行動し、人に影響を与えたり協力させたりできる「指導性」など、各階層で必要とさ

れる態度能力は変化します。当社では社員をキャリアによっていくつかの階層に分類し、それに応じたマネジメント力を身につける研修を行っており、あなたを社会人として確実に成長させます。

SKILL UP

	若手	担当者・主任	事業所課長・係長・課長代理	本社課長・事業所副所長	本社次長・事業所長	経営幹部
マネジメント 組織運営 能力						経営幹部研修
専門・ マルチ能力		主任・担当者研修	係長・課長代理研修	事業所長・副所長研修		
基礎的能力	新人・若手研修 新人研修 工事積算研修		OJT能力開発研修			
経験年数	1~5年	6~10年	11~15年	16~20年	21~25年	26~30年 31年~
	凡例	キャリア別研修	専門能力開発研修			



新人研修

名刺交換、電話応対、身だしなみ、言葉使いなど、社会人としての初歩的なスキルを身につけていただきます。学生時代は常識と思っていたことにも意外な盲点が…。

海外研修

公益財団法人高速道路調査会が主催する海外道路調査団に参加。2014年度はアメリカ・カナダの有料道路公社などを表敬訪問し、現地の道路事情や休憩施設を視察しました。

管外研修

新潟県内にとどまらず、日本各地の高速道路関係の企業や機械メーカーなどを対象に研修を実施。互いの交流を深めるとともに、幅広い見識を身につけます。

▼ 新人若手研修 実施風景



自身の成長を実感した経験をブロックで表現し、相手に伝える「モデリング」と呼ばれるプログラムなど、様々な手法でコミュニケーションやビジネススキルの向上を図ります。

資格支援制度

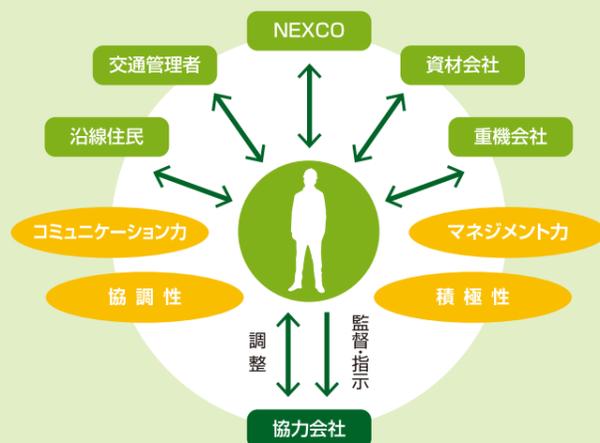
維持管理業務のプロ集団の一員として各種の資格は取得したいもの。義務ではありませんが、自己啓発やスキルアップのためにもぜひ挑戦して欲しいです。資格を取得するにあたって、会社として受験料はもちろん、テキスト代や旅費も支援します^(※1)。また、取得後は資格手当が支給されます^(※2)。

※1 一定の制限はありますが、複数回にわたる受験も対象とされます。
※2 複数の資格を取得した場合は、組合せにより2万円を上限として支給。

支援対象資格 (全28種)

技術士、技術士補、気象予報士、コンクリート診断士、日商簿記(1級・2級)、ビジネス実務法務(1級・準1級・2級)、土木施工管理技士(1級・2級)、造園施工管理技士(1級・2級)、管工事施工管理技士(1級・2級)、建築施工管理技士(1級・2級)、建設機械施工管理技士(1級・2級)、警備員指導教育責任者、コンクリート主任技士、コンクリート技士、舗装施工管理技士(1級・2級)、建設業経理事務士(1級・2級)、第1種衛生管理者、保安安全管理者

マネジメント能力を発揮できる人物



高速道路の維持管理には多くの機関が携っており、当社の社員はこれら関係者との協議・調整を通じて協力業者に適切な指示を出す「ハブ(軸)」の立場にあります。人的・物的・金銭的資源を有効に配分して業務を着実に遂行できる「マネジメント力」が強く求められます。

幅広く業務を経験し、掘り下げる「T型人間」を育成



会社として資格取得・能力開発の支援を行います。

当社の業務分野は、舗装・植栽・機械…と多岐にわたります。入社後、数年間は各部署を一通り経験していただき、マルチ的に能力を身につけていただきます。その上で自分の得意分野を見出し、深く掘り下げてゆく…。アルファベットのTのごとく成長できる意欲的な方を当社は歓迎します。

長岡事業所
保全課

五十嵐 彩絵

Ayae Ikarashi

2013年入社

女性が働きやすい現場は、
きっと、男性にも快適な現場だと思う。

お客様と施工業者の
安全確保を最優先

私の所属する保全課では主に高速道路の補修工事を行っています。現在の私の担当はコンクリートの補修工事です。新潟の高速道路では凍結防止剤によるコンクリート中の鉄筋の塩害が多いので、その補修工事は不可欠です。また今後の工事に向けた事前調査や、計画書の作成もしています。補修工事の際のコンクリートをはつる(削る)作業では、狭い場所でも使える特殊な「はつり装置」を使うのですが、これは当社独自の開発品です。私がこの会社に入ろうと思ったのは、こうした技術開発にも力を入れている会社の姿勢に魅力を感じたからです。

工事で重要なのは、何よりお客様と施工業者の安全を確保すること。一歩間違えば大事故になりかねない高速道路ですから、入念な準備が肝心です。春に調査を開始し、秋にようやく工事を始めるケースもあります。それだけに、無事に工事が完了するとホッとしますし、自分の仕事が目に見える形で残ることにもやりがいを感じます。プライベートでその場所を通ると、家族に「私が関わった仕事だよ」と話したりできるのも、この仕事ならではのですね。



女性が働きやすい現場を
提案していきたい

事務所は基本的に静かで集中しやすい環境。時には雑談で盛り上がることもあります。先輩や上司も話しかけやすいので、特に工事の安全に関することは1人で判断せず、相談するようにしています。

まだまだ少数ですが、女性スタッフが働きやすい環境を作りたいという思いもあります。仕事のしやすい環境を作るためにはどうすればいいのか、1袋20kgもある材料を運びやすくできないかなど、改良の余地はたくさんあると思います。“土木=男性の仕事”というイメージを変え、より多くの女性スタッフが活躍できるように、その先駆けとして頑張りたいです。

▼ 1日のスケジュール

- AM 7:30 出社
 - AM 8:00 ラジオ体操
業者さんと一緒に外でラジオ体操。
 - AM 8:05 ミーティング
当日の工事内容の確認、当日の行動内容の共有、前日の安全パトロールの結果報告、KY活動(危険予知トレーニング)など。
 - AM 9:30 現場
現場の進捗状況確認、検査、問題箇所・危険箇所の指摘など。
 - AM 12:00 昼休み
休憩室で昼食。食後はお昼寝タイム。
 - PM 1:30 調査
補修予定箇所に必要な材料の確認、ケーブルなどの危険箇所の有無を調査する。
 - PM 5:00 書類整理
事務所でのデスクワーク。作業報告書や調査結果をまとめる。
 - PM 7:00 退社
- 緊急当番時の例
- PM 6:40 緊急連絡
事故復旧作業などの指示を受け、材料などを用意し現場へ向かう。
 - PM 8:00 作業開始
夜間のため反射材付きのチョッキや誘導棒を使用し安全を確保。
 - PM 8:40 作業終了
事務所に戻り後片付け、報告書の作成。
 - PM 9:00 退社

新潟事業所
工務課

若杉 公彦

Kimihiko Wakasugi

2012年入社

地元新潟のため、自分には何ができるか。
その思いが仕事への原動力です。

ふるさとを襲った災害が
大きなきっかけに

私は新潟県見附市出身で、学生時代に中越地震、中越沖地震という大災害を経験しました。中でも印象に残っているのは、2004年(平成16)の中越地震です。地震発生時、私の父がちょうど高速道路に乗っていたのですが、職員の方の迅速な判断のおかげで無事帰宅することができました。父から「職員の対応が素晴らしかった」と聞いたこと、また大学で高速道路の橋のジョイント(結合部分)について研究していたこともあり、高速道路の維持管理を専門とする当社を志しました。

私が担当しているのは、主に「積算業務」です。積算とは、終了した工事にかかったお金を計算したり、これから契約する工事の概算金額を出したりする業務です。なぜその金額なのかという根拠の作成、図面作成などやることがたくさんあります。それをもとに親会社であるNEXCO東日本への報告、進捗状況の説明、各種協議などを行います。

冬は雪氷管理員として、気象データや現場の映像を常にモニタリングし、除雪作業員に指示を出す仕事もしています。

技術者として、高速道路管理の
進化を目指したい

これからの時代は、新たに構造物を造るだけでなく、今ある構造物を維持・メンテナンスし長寿命化することが重要です。元通りに直すだけでなく、今後の補修工事が少なくて済むよう改良を加えながら補修する——そんな「進化したメンテナンス」が求められると思います。そのために自分の培ってきた土木の知識を活かしたいですし、新たな技術も学んでいきたいです。入社初年度のマレーシアでの海外研修では、英語で論文を発表し、海外の技術にもふれる貴重な経験ができました。今後も広い視野で技術開発に取り組み、会社の発展と新潟のために尽力できる人材になりたいです。



▼ 1日のスケジュール

冬季・夜勤の場合

- PM 3:30 出社
- PM 4:00 防災対策室へ移動
日中の当番からの引き継ぎ、現状確認(天候、路面状況など)。気象会社から届くデータをもとに、夜間の雪氷対策を検討する。
- PM 4:30 雪氷判定会議
各雪氷基地の体制を説明し、当番班長から承諾をもらう。
- PM 5:00 各基地の招集確認・雪氷夜間体制開始
指示通りの人員が集まっているか確認。モニター、気象データを常に監視し、状況に応じて指示を出す。巡回作業員に現地に行ってもらい状況を確認することもある。
- PM 8:00 夕食
- PM 9:00 雪氷体制再検討
最新の気象データに基づき、人員の増減を検討する。
- AM 5:00 日中の雪氷体制の検討
夜間の状況や気象データから、日中の体制を検討する。
- AM 8:00 日中の当番への引き継ぎ
- AM 9:00 退社
- AM 10:00 就寝

*夜勤明けは、その日と翌日の二連休になります。



上越事業所 保全課

関 由里絵

Yurie Seki

2013年入社

職場環境の良さとやりがい。両方あるのがこの会社でした。

学生時代に学んだコンクリートや土質力学の知識を活かし、地元で働きたいと思い、この会社に入りました。将来を考えると、転勤があっても新潟県内ということや、充実した福利厚生も魅力でした。

今は現場担当として、協力業者と橋桁端部の補修などを行っています。土木の世界は男性が多く、初めはビクビクしていましたが、実際話すと良い方ばかりですし、妹や娘のように可愛がってもらえることもあります。協力業者といっても

私より現場経験が豊富な方ばかりなので、施工方法などを相談し、勉強させてもらうくらいの気持ちで接しています。

以前、夜間通行止めの作業で、直前になって材料が足りないことに気づき、頭が真っ白になったことがありました。でも「今できることをするんだ」と決意して材料を製造する工場に電話して頼み込み、何とか間に合わせることができました。無事に工事を終えられたことへの安堵感と同時に、事前準備の重要性が身にし

みました。「どんな仕事も、自分ができることを最後までやりきる」。この姿勢を忘れずに今後も仕事に取り組みたいです。



“現場に活かされる仕事”をする。それが私の使命です。

当社には4つの事業所（湯沢・新潟・長岡・上越）があります。私の仕事は、各事業所の出来高確認と、親会社である



NEXCO東日本への報告という、いわば両者の「橋渡し役」です。常に心がけているのは、「現場に活かされる仕事をする」ということ。例えば冬の除雪では、のべ何百人もの除雪作業員の方が出勤に備えて各地の雪氷基地で待機しています。雪国・新潟の大変な任務を背負っている方々ですから、待機場所となる雪氷基地は少しでもきれいに改修したい。その必要性を訴えて予算を確保するために、決定権を持つ親会社との交渉はできるだけ

直接顔を合わせて行うようにしています。

私が現場にこだわるのは、やはりすべては「現場」にあると思うからです。クレーン車や高所作業車の免許など、直接は必要ではない現場の資格に挑戦するのも、現場作業員とできるだけ目線を合わせていきたいから。受験費用の負担や各種研修など、会社のサポートもありがたいですね。これからも当社の社員である限り、現場を理解したメンテナンスのプロフェッショナルであり続けたいです。

工務部 工務課

小林 拓

Taku Kobayashi

2011年入社



様々な業務を経験し、いつか緑地デザインに携わりたい。

私が所属する企画課の役割は、主に高速道路の保全・補修工事計画を立てるための調査です。さらに今は現場を知るために、実際の道路保全工事の施工管理も担当しています。入社早々から幅広い業務に挑戦させてもらっていますが、頼りがいのある先輩方がサポートしてくるので頑張れますね。

当社を志した理由は、以前から何気なく使っていた高速道路が、メンテナンスという業務があって初めて安全に利用でき

ることを知り、感銘を受けたからです。また父親も建設業界で働いており、「地図に残る仕事をしているんだ」という言葉にも



憧れを抱いていました。今は人々の暮らしを支え社会に貢献できるこの仕事に、強い使命感とやりがいを感じています。

大学ではランドスケープデザインを専攻し、公園などの緑地設計を学んできました。道路メンテナンスとは少し畑違いの分野ですが、だからこそ先輩方とは違う観点から高速道路の維持管理・保全を提案できたらと思います。そしていつか、サービスエリアなどの緑地帯の設計やデザインにも携わってみたいです。



湯沢事務所 企画課

當重 太一

Taichi Toju

2014年入社